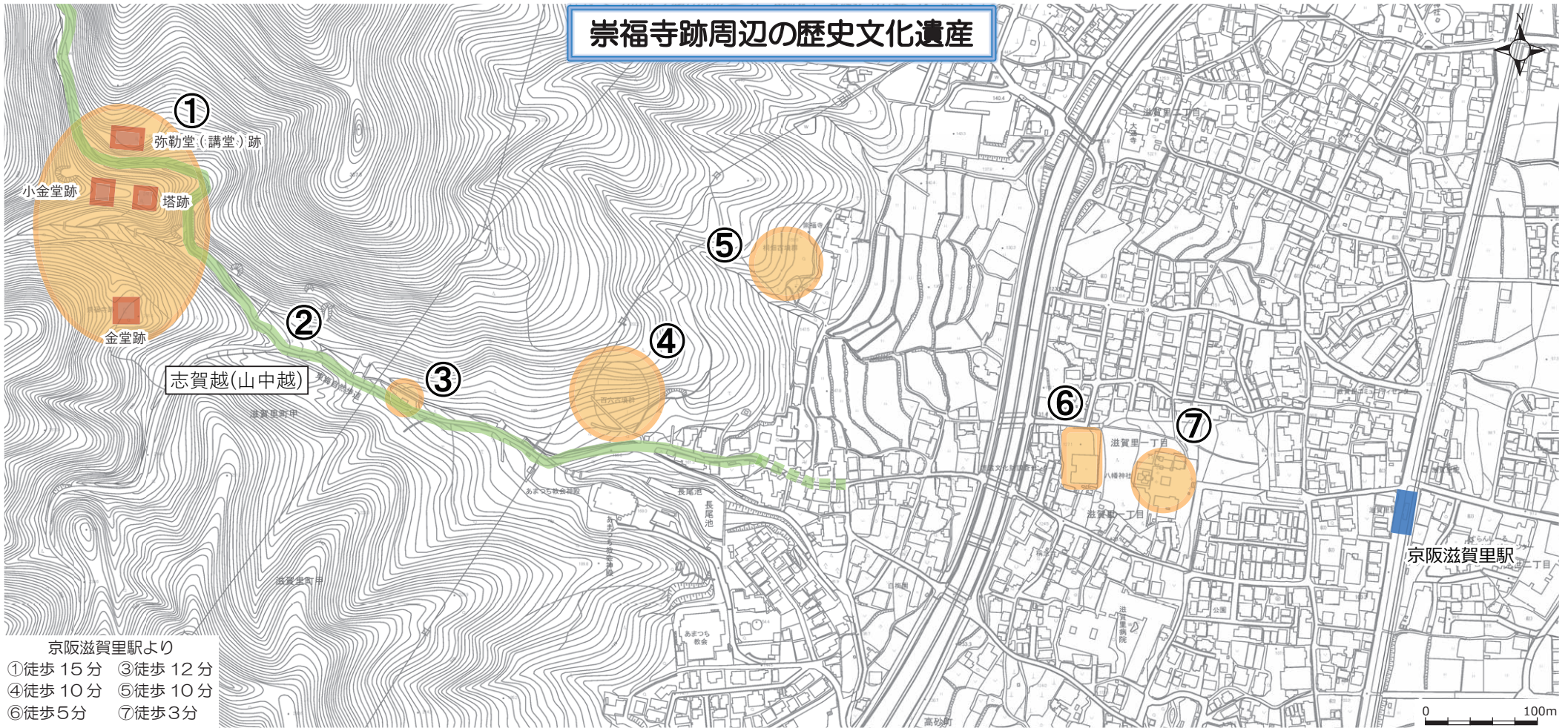


崇福寺跡周辺の歴史文化遺産



京阪滋賀里駅より

- ①徒歩 15分 ③徒歩 12分
- ④徒歩 10分 ⑤徒歩 10分
- ⑥徒歩 5分 ⑦徒歩 3分

① 崇福寺跡 (国史跡)

668年、天智天皇が大津宮の北西に建立した寺院跡。大規模な造成が行なわれ、多数の堂宇が建っていた。北尾根に弥勒堂(講堂)、中尾根に小金堂、塔、南尾根に金堂と講堂が建つと推定される。建物中心線の違いから、北・中尾根が崇福寺、南尾根は平安時代の梵釈寺と考えられる。塔跡の心礎から出土した瑠璃壺をはじめとする舍利容器類は国宝に指定。

② 志賀越(山中越)

京都の北白川へと至る道。古代から近江と京都を結ぶ主要な交通路で、歌枕にもなっている。室町時代には、延暦寺の支配する山中関が置かれていた。

⑤ 熊ヶ谷古墳群

古墳時代後期の6基の円墳から構成。3基で横穴式石室が見つかっており、その形状から渡来人の墓ではないかと考えられている。

③ 志賀の大仏 (市指定文化財)

鎌倉時代の石造阿彌陀如来坐像。山中町西教寺前、京都北白川に同様の石仏が現存し、山越えの道中安全を祈願したものといわれている。

⑥ 大津市埋蔵文化財調査センター

発掘調査で出土した遺物や記録資料を収蔵・保管・研究し、報告書の刊行や展覧会、講座、体験学習会等を開催。
【平日9時～17時 無料 ☎077-527-1170】

④ 百穴古墳群 (国史跡)

古墳時代後期の古墳群。ドーム状の横穴式石室をもち、ミニチュア炊飯具が納められているという特徴から渡来人の墓であると考えられる。

⑦ 志賀八幡神社

旧志賀4ヶ村の氏神。天武天皇の白鳳9年創建と伝え、祭神は応神天皇。9月の秋祭りでは、竹で作られた鉦が奉納される。